

婦人会報

立教185年 2 月

令和四年
2022年



天理教婦人会旭日支部

通卷512号

成人目標

ひながたをたどり

陽気ぐらしの台となりましょう

活動方針

元をたずね ご恩報じの日々を

旭日支部としての実行項目

一、真剣におつとめをつとめ

世界のたすかりを祈りましょう

一、教えを学びましょう

一、今、自分に出来るひのきしんをしましょう



実行項目について

婦人会本部では、今年の成人目標を「ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう」、活動方針を、「元をたずね ご恩報じの日々を」と指針を出して下さっています。そして、今年も具体的な実行項目は、支部で決めることになりました。そこで旭日支部として、委員会で相談の上、昨年定めた実行項目を継続することに決めました。

旭日支部実行項目

一、真剣におつとめをつとめ

世界のたすかりを祈りましょう

一、教えを学びましょう

一、今、自分に出来るひのきしんをしましょう

一つ目の「真剣におつとめをつとめ 世界のたすかりを祈りましょう」は、まだ世界中でコロナ禍が続いている状態ですので、世界中で直面しているコロナの収束を祈るこ

とは勿論のことですが、コロナ禍の陰で困難な状況に置かれている人々、貧困や人権問題、人種差別、思想の弾圧など、世界中で苦しんでいる方々のたすかりも含めて祈るといふことです。

昨年夏に流行ったインド由来のデルタ株、昨年末からアフリカ由来のオミクロン株が、今感染拡大していますように、世界は繋がっている、新型コロナウイルスが一つの国だけ自分の国だけ収まったら良いのではないと教えてくれています。人、物の行き来、経済、治安を考えれば、結局世界中の問題は世界中で解決していかなければ、陽気ぐらし世界の実現につながるらないと分かせてもらったことから、「世界中のたすかりを祈っていく」ことを意識しておつとめをつとめていきたいと思えます。

二つ目に「教えを学びましょう」としたのは、成人目標の「ひながたをたどる」、活動方針の「元をたずねる」との思いに添うには、親神様の思召を心に治めることで、そのためには原典や教祖伝から学ぶことが必要だからです。教えから日々の判断、思案をしていく基礎を作っていきたくと考えています。今年も、出来るだけ教えに触れる機会を増やしていくことを意識したいと思えます。

そして三つ目に「今、自分に出来るひのきしんをしましよ

う」と掲げました。

コロナ禍で大勢集まれなくても、おつとめ、教理の勉強、ひのきしんは、それぞれの土地所で婦人会員一人でも出来ることです。そして、それぞれが、自分に出来るひのきしんをさせていただく、そのご恩報じの姿を親神様がお受け取り下さると思います。裁縫が得意な人、お料理が得意な人はそれを生かして、家族や周りの人を喜ばし、地域のゴミ拾い、笑顔での声かけなども、地域社会の役に立つこと、人を喜ばすことに繋がり、たすけあいに繋がると思えます。介護や子育ても、今一番必要な家族の助け合いです。

コロナ禍が三年目に入り、様々な行動制限が続いたことで、今年は特に繋がりが薄くなっていることが問題視されています。身近な方々に声を掛け、励まし合って、この困難を乗り越えられるよう、自分に出来る真実を出して、繋がりを大切に取る取り組みが出来ればと思えます。

今年もこの実行項目を心に置いて、旭日支部に繋がる会員の皆様と共に励まし合い、たすけ合って勇んで通らせて頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

婦人会旭日支部長

岡本 道子

「今、自分に出来る事を」

何からでも」

城久委員部 庄司典子

新しい年が始まりました。

年の初めには大寒波が襲来し大雪被害に見舞われる地域も多く、又、トンガ沖で海底火山が噴火し世界中に影響が出るという現象が起こり、改めて天然自然への畏敬を感じます。しかし、木々や土の下では、新しい芽が春に向かって伸びようとしている息吹も感じられ、親神様の十全の御守護を季節の移り変わりを通しても感じています。

一昨年から続いている新型コロナウイルスも拡大は、様々な行動の制限をもたらし、人々の生活を一変させ、未だ困難な状況が続いています。

そのような中でも、今、自分に出来る事を実行しようと「にをいかけ、お

たすけ、ひのきしん」を皆様それぞれの持ち場立場で通って来られた事と思います。

コロナ禍の中でも、前に進みたい、何とか出来る事はないかと、その場所に行けなくてもオンライン上で講話を聞く事が出来、会えなくても、画面上でお互いの顔を見ながら話が出来たり、大勢の人が一同に繋がる事が出来るなど様々な手段も増えてきました。

しかしながら、おちばに帰らせていただく事は、オンライン上では出来ません。一昨年の全都道府県に緊急事態宣言が発令された時は、ご本部に参拝する事も出来ませんでした。今はご本部分次祭典には、人数を制限して間隔を開けて昇殿参拝出来るようになります。祭典後は、誰でも昇殿が可能となり少しづつ有難い日々が戻ってまいりました。

一昨年は、こどもおちばがえりも中止になりましたが、毎年こどもおちばがえり前に、自教会でしている「教会

お楽しみ会」も、人が集まる事をするのは無理かな、どうかなと思案しておりました。

未信者さんの子供達にも、教会に来てもらって新型コロナウイルスが収束して世界中の人々が穏やかな日常を送る事が出来るように、親神様、教祖にお願いし祈る事を伝えたいと思い、いつもこどもおちばがえりに参加してきている家庭に声をかけましたら、

「色々な学校行事も中止になっているので是非参加させたい」と言われ何人かの子供さんが参加してくれました。感染対策に気を配りながらも子供達と一緒におつとめをし、世界中の人々のたすかりを祈る事が出来ました。

私の子供達が小さい頃には、子供のお友達にも声をかけて四月には「教祖お誕生まつり」をしていましたが、最近はこどもおちばがえり前の「教会お楽しみ会」だけになっていました。何か出来る事をさせていただかなければ

と思い、昨年は、久し振りに「教祖お誕生まつり」を、こどもおぢばがえりに参加してくれた子供達に声をかけて開催させていただく事が出来ました。

ピンク色の紙に桜の花の形を書いて切り抜き、大きな模造紙に桜の木を太くたくましく描き、桜の花に自分の願いや教祖にお誓いする事を書いて、木に貼り付け、木を桜の花で満開にして、子供達で教祖に御供し、御供した手作りのケーキをお下げて皆でいただきました。六年生の子供さんは、「コロナが落ちていて修学旅行に行けますように」や「コロナがなくなり世界中の人が幸せに暮らせますように」等、自分の事だけでなく人の幸せも願う子供さんもありました。夏休みには「教会お楽しみ会」をし、おつとめの練習、親神様、教祖のお話に加えて、少年会本部から提唱された「夏休みこどもひのきしん」の事を伝えたいと思い「ひのきしん」の意味を話しました。

少年会本部から子供達にわかりやす

く作製された「ひのきしん」の動画を見てもらったりして「ひのきしんカード」を使って「ひのきしん」の実践を伝えました。

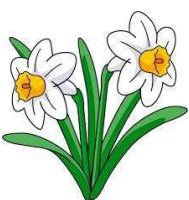
子供達にも夕食後の片付けひのきしんをしてもらい、「家に帰ったらお父さんお母さんのお手伝いをしてお家の人に喜んでもらってね。ひのきしんをしたらシールを貼ってね。」と話しました。お迎えに来られたお母さん方には「ひのきしん」と「ひのきしんカード」の説明をさせてもらい子供達は嬉しそうに「ひのきしんカード」を家に持って帰ってくれました。

昨年、私は七月に還暦を迎えました。コロナ禍ではありましたが、夏休みに、子供達が皆都合を合わせ孫達も一緒にお祝いの会を設けてくれました。お金を出し合っただけのプレゼントやメッセージに、有難い気持ちでいっぱいになりました。

振り返ってみましたら色々な出来事

がございましたが、親々がこの道を通して下さったお陰で今日がある事を、子供や孫達の姿を見ると、しみじみと思えます。

真柱様が年頭のあいさつの中で「与えられた条件の中で、やらなければならぬことをいかに進めるか」ということを今の時句を考えて、それぞれのつとめを果たしていただきたい」と述べられたお言葉の思いを心に抱き、婦人会本部の成人目標、活動方針、旭日支部としての実行項目を今一度しっかりと胸に治め、今、自分に出来る「においがけ、おたすけ、ひのきしん」を何からでもさせていただき親神様、教祖にお喜びいただける道を歩ませていただきたいと思っております。



令和4年 旭日支部行事予定 (令和4年2月現在)

月	日	行事
2月	5日	例会
3月	5日	例会
4月	5日	例会・本部ひのきしん（回廊拭き）
	19日	天理教婦人会第104回総会
	24日	委員部長講習会
5月	1日	こかん様に続く会
	5日	例会
6月	5日	例会・母親講座
	26日	委員部長女鳴物勉強会
7月	5日	例会・大教会ひのきしん（窓拭き）
8月	5日	例会
	26日	委員部長後継者及び教会子弟夫人講習会
9月	5日	例会・おつとめの勉強
10月	5日	例会・大教会ひのきしん
11月	5日	例会・本部ひのきしん（草引き）
	27日	第30回女子青年大会
12月	5日	例会・大教会ひのきしん（窓拭き）
令和5年		
1月	9日	初例会・新年会
	28日	天理教婦人会創立記念の日

※婦人会例会は、毎月5日です。（1月は9日になります。）

※社会状況により、行事など変更する場合があります。



三月例会案内

日時 三月五日（土） 午前十時
場所 旭日大教会
内容 教祖祭
お願いごとめ
ておどり（半下り）
お話（おふでさき 第八号より
旭道委員部 山村美恵）
お弁当配布



※ 今年の月次祭の炊事当番・託児当番は、しばらく見合わせております。

三月例会役割

扈者	南本 サツエ	関 薫
賛者	山本 ひとみ	岩崎 千鶴
指図方	辻 佐知子	



女子青年案内

Webブックレット『Blossom-letter no.9』を配信しました。女子青年アンケート「好きな逸話篇」第1位を発表しています。女子青年オープンチャットか大教会ホームページからご覧下さい。



旭日大教会のホームページです。一度ご覧いただき活用下さいますようお願いいたします。カラーで楽しめませう。

*Doc1 <https://asahi49.net>



今月の表紙より

「楽しむ」で辞書をひくと、満ち足りている事を実感して愉快的気持ちになる。好きな事をして満足を感じる。先の事に期待をかけ、そうなる事を心待ちにする、とあります。さて、今のコロナ禍においてそんな気持ちを抱く事ができていますでしょうか？楽しむ事を心がけて、過ごすようにしたいものですね。先案じして不安に思っばかりでなく、はき出す言葉ひとつ、明るく変えていきましょう。「声は肥」と聞かせていただきます。皆さんの毎日が変わるきっかけになりますように。

発行日

令和四年二月五日

発行者

岡本道子

発行所

天理市田井庄町一二八
天理教婦人会旭日支部